

## 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

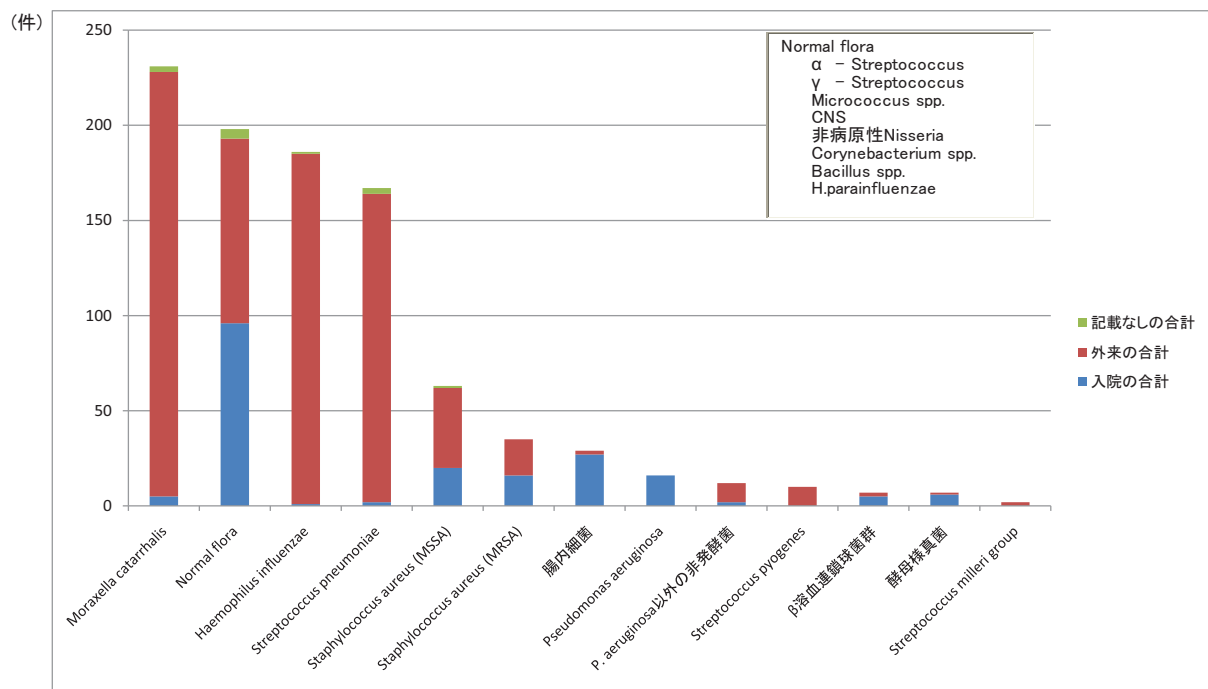


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況と、その中で検出されている *Haemophilus influenzae* の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

### 【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2018年02月



*Moraxella catarrhalis* は、偏性好気性グラム陰性の双球菌でヒトの上気道粘膜に常在し、ときに肺炎や気管支炎などの呼吸器感染症の起原菌となります。

*Moraxella catarrhalis* は、ほぼ100%がβラクタマーゼを産生するため、抗菌薬はβラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン(アモキシシリンとクラバン酸の合剤)を選択します。その他には第3世代セファロスポリン系抗菌薬やキノロン系抗菌薬も治療に用いられます。βラクタマーゼを産生することが、小児における急性中耳炎の治療を困難としています。

上記の表の上位検出菌の *Haemophilus influenzae*、*Streptococcus pneumoniae* と同時に検出されることも多くあります。

## 【細菌薬剤感受性情報】

2018年 2月分

## アンチバイオグラム (Haemophilus influenzae)

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	ABPC	ピクシリン	24	24	53
	AMPC	サワシリン	13	13	74
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CTRX	ロセフィン	100	0	0
	CAZ	モダシム	100	0	0
	CZOP	ファーストシム	0	0	100
	CFPM	マキシピーム	100	0	0
	FMOX	フルマリム	0	0	100
セフェム系経口薬	CPDX	パナム	30	0	70
	CFDN	セフゾン	24	0	76
	CFPN	フロモックス	44	0	56
	CDTR	メリアクト	100	0	0
	CFTM	トミロン	96	0	4
カルバペネム系	IPM	チエナム	88	0	12
	PAPM	カルベニン	87	0	13
	MEPM	メロペン	100	0	0
	TBPM	オラベネム	94	0	6
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	30	0	70
	ACV	オーグメンチン	49	0	51
	STC	ユナシム	0	50	50
マクロライド系	CAM	クラリス	52	41	7
	AZM	ジスロマック	97	0	3
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシム	100	0	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	100	0	0
	TFLX	オゼックス	97	2	1
	GRNX	ジェニナック	100	0	0
	ST	バクタ	50	0	50

近年アンピシリン耐性株が増加しており、その耐性菌は下記の3つに分けられます。

- ・BLPAR((β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)
- ・BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)  
β-ラクタマーゼ非産生で PBP3 遺伝子上に変異が生じた耐性菌
- ・BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラブラン酸耐性 H.influenzae)  
β-ラクタマーゼ産生で PBP 3 遺伝子上に変異が生じた耐性菌

当検査センターホームページでは詳細な情報をご覧いただけます。<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>  
検査科微生物係